

# 令和8年度 遠野市立宮守小学校働き方改革アクションプラン

遠野市立宮守小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

## 目指す姿

- ◆ 職員は、自分の労働時間を把握し、多忙・負担軽減対策等に取り組んでいる。
- ◆ 管理職は、時間外在校等時間の状況を見える化し、改善に向けて実現可能な具体策を提案している。
- ◆ 宮守小働き方改革アクションプランに組織で取り組んでいる。

## 働き方改革の重点取組

### 取組① 時間外在校時間の削減

- ◆ 働き方改革の目的について、業務の推進のしかたについて研修を通し組織で時間外在校時間の削減に取り組む。
- ◆ 毎月の時間外在校等時間の状況を見える化することで、自分自身の働き方スタイルを見直し時間外在校時間の削減を実現する。

### 取組② 業務の推進のしかたの見直し

- ◆ 校務分掌や各行事の見直しを図り、業務の軽減化・効率化を図る。
- ◆ 会議資料の事前配布や各種アンケート・提出物の ICT 活用による時間の短縮化を図る。

### 取組③ 定時退庁の推進

- ◆ 労働衛生委員会の場合において、自分と全体の時間外在校時間を把握する。
- ◆ 定時退庁の日を月に2回設定し、月に1回は全員が定時に退庁する。

	現状	具体的成果目標 (数値目標)	関係する 重点取組
目標①	教職員個々が担う業務量が多いため、時間外に業務を行っている。	職員会議等の機会に、個々の業務等を確認し、負担が増えないように分担する。	② と ①
目標②	昨年度は月の時間外在校等時間 45 時間を超える月が 10 か月あった。	各自が昨年度より時間外在校時間を削減し、組織として時間外在校等時間の月 45時間以上0人達成の月を増やす。	① と ②
目標③	定時退庁を設けているが、全職員が定時に退庁するには至らない。	全職員が月に1回以上定時退庁をする。	③